

長田・兵庫

歴史に思いを馳せてまちあるき。ふらっと立ち寄れる
大衆演芸は居心地がよく、下町の風情はどこか懐かしく、新しい。
歩くたびに発見があるディープな魅力を楽しんで。

明治期の神戸三大土木遺産を訪ねて

A 湊川隧道

KOBE FIELD PAVILION
CITY PARK & GALLERY

合わせて行きたい！
現代に残る神戸の近代土木遺産



鳥原貯水池
優美なアーチ形の堰堤が魅力！
貯水池を囲む
「水と森の回遊路」を散策しよう！

明治時代の職人たちによって手作業で造られた日本初の近代河川トンネル。当時の建設技術の素晴らしさとレンガ・花こう岩の作り出す美しい空間は幻想的なスポット。普段の定期一般公開では見ることができない湊川隧道下流部や川面を身近に感じられる新湊川親水エリアを通り抜けるイベントも。



兵庫運河
日本最大級の運河ここにあり！
水際には遊歩道としてキャナルプロムナードが。実は夜景も綺麗なスポット！

日常にアートを
まちなかにたどよう
アートな雰囲気



古民家や町工場など新長田のまち全体を会場に隔年で開催される「下町芸術祭」は、まちと暮らしとアートが融合。NPO法人DANCE BOX運営の「ArtTheater dB KOBE」では、コンテンポラリーダンスを中心としたアートプログラムを展開。映画資料館や路地に佇むアートギャラリーなど、この下町を歩けば意外な場所でアートな発見に出会える。



こなもんだけじゃない
G 食のまち、長田！

「そばめし」や「すじ焼き」など、愛され続ける名物グルメが多くある長田。新長田の商店街には八百屋や精肉店とともに、ベトナム料理、ミャンマーカレー、キムチ店も。外国にルーツを持つ人たちが多く暮らすこの地ならではの食文化。休日は、新長田駅南側の鉄人広場から6つの商店街をぐるっと巡ってお気軽に入りのお店探しを。



懐かしさは新しい。商店街・市場を歩く

情緒あふれる商店街は、象徴的な長田・兵庫の風景。守られてきた下町の雰囲気はこのまちの真の姿。旨いもんが集う商店街は、「買う」だけでなく、「食べる」楽しみも。商店街を1日歩くと新たな出会いが。

長田・兵庫エリア
だけでも
17の商店街・
7の市場が！



神戸の旬の魚をかう、味わう

H 駒ヶ林漁港「海と、魚と、」

六甲山系の恩恵を受ける豊かな漁場・神戸沖。駒ヶ林漁港では、約40人の漁師が船を出し、しらすや鯛、ナマコなどを出荷。新鮮な魚介類を楽しめる1日限定のマーケットでは、直売や漁師がつくるおいしい魚料理も。



D 活気に満ちた商店街「神戸の台所」

湊川公園を中心に南北に長く広がる市場・商店街は、商店がたくさん立ち並び、買い物客や食べ歩きの人でいつも賑わう。隣接する湊川公園では、ハンドメイド作家が大集合する「湊川公園手しごと市」が開催されることも。商店街に加え、青空市の開催で、境界のまちあるきがさらに楽しく。



F 能福寺・兵庫大仏

平清盛が出家したとされる「宝積山 能福寺」。日本三大仏の一つともいわれる『兵庫大仏』がここに。青空をバックに堂々とそびえる荘厳なお姿に、清らかで謙虚な心をもってお祈りすると、願いをかなえてくださるそう。



2025年、新開地は「生誕120年」に
B面の神戸・新開地でエンタメを堪能

かつて全国有数の興行街で「神戸へ遊びに行く」といえばこのエリアだったとか。『神戸新開地・喜楽館』は市内唯一の落語寄席を、『新開地劇場』は国内屈指の舞台規模で大衆演劇を楽しめる。2つの映画館や子どものアート体験などができる『新開地アートひろば』もあり、新開地のエンタメは多種多様。

E 県立兵庫津ミュージアム



北前船の寄港地として発展した兵庫津は、最初の県庁が置かれた兵庫県誕生の地でもある。『兵庫津ミュージアム』は、最初の県庁を復元した『初代県庁館』と博物館機能を持った『ひょうごはじまり館』から成り、兵庫県の成り立ちと魅力を多彩な映像やコンテンツで見て・触って学べる、体験型ミュージアム。エントランスは北前船型の行灯と兵庫津を描いた鳥瞰図でお出迎え。

長田・兵庫をさらに楽しむ！モデルコース
神戸西部 3都まち歩きマップ

湊川公園 ▶ 県立兵庫津ミュージアム ▶ 鉄人広場

歩行距離：約10.2km | 所要時間：約4時間

湊川公園をスタートし、兵庫津を経由して、JR新長田駅前の鉄人広場まで散策する、約10kmのコース。ゴールの鉄人広場では、2025年2月にリペイントされきれいになった鉄人28号がお出迎え。

潮風感じる開放感、とおきのまちあるき